

防人1第6366号
60. 12. 24
改正 防人1第4709号
8. 9. 9
改正 防人1第8442号
14. 10. 4
改正 防人計第4888号
19. 8. 31

人事教育局長
陸上幕僚長 殿
海上幕僚長
航空幕僚長

事務次官

通常儀じよう隊の服装の特例について（通達）

標記について、下記のとおり定められたので、遺漏のないよう期せられたい。

記

- 1 自衛隊の礼式に関する訓令（昭和39年防衛庁訓令第14号）第83条第2項
ただし書の「別に定める服装」は、別紙のとおりとする。
- 2 自衛官以外の者に対して別紙に定める服装により通常儀じようを行う場合にお
いては、幕僚長がその都度人事教育局長と連絡調整を行うものとする。

区 分	服 装	
酷暑時に通常儀じようを行う場合	陸上自衛隊	(1) 第3種夏服上衣、夏服ズボン、半長靴、乙階級章、バンド及び正帽 (2) けん銃帯又は弾薬帯。必要に応じ、鉄帽（鉄帽用中帽を含む。以下同じ。）又は鉄帽用中帽（この場合、正帽を着用しない。以下同じ。）
	海上自衛隊	(1) 第3種夏服上衣、第1種夏服ズボン、正帽、短靴、丙階級章及び第1種夏服バンド (2) きやはん、けん銃帯又は弾薬帯。必要に応じ、鉄帽又は鉄帽用中帽
	航空自衛隊	(1) 第3種夏服上衣、夏服ズボン、第1種（第2種）編上靴、乙階級章、バンド及び正帽 (2) けん銃帯又は弾薬帯。必要に応じ、鉄帽又は鉄帽用中帽
寒冷時に通常儀じようを行う場合	自衛官服装規則（昭和32年防衛庁訓令第4号）第14条第2項の規定に基づき幕僚長が定める防寒のための特殊服装	
国際平和協力業務の実施時に通常儀じようを行う場合（上記の場合に係る服装をすることが業務遂行に著しい支障を及ぼすと認められる場合に限る。）	(1) 当該業務実施時の服装 (2) 自衛官服装規則別表第1、別表第3又は別表第5の乙武装の項の（ロ）に定める着用品	